

## 外国語学部2年生 宮崎琉、雨中の激戦を制してカート国内大会で優勝 フィリピンでの耐久レース「Kalayaan Cup」へ参戦決定！

～小学4年生からの夢「GT3」へ、世界を舞台に挑み続ける現役大学生レーサー～

文京学院大学（学長：福井勉）外国語学部2年生宮崎琉（みやざき りゅう）さんが、2026年6月7日に静岡県・JAF公認オートパラダイス御殿場（APG）で開催された「2026 ROTAX MAX Challenge APG SERIES Round4」のMAX Lightsクラスにおいて、優勝を果たしました。雨天という難しいコンディションのなか、16台が出場した決勝を制しました。国内大会制覇の勢いそのままに、宮崎選手は6月13日（土）・14日（日）にフィリピン・クラーク国際スピードウェイ（パンパンガ州）で開催される耐久レース「Makabayan Endurance Race Challenge Series」の2時間耐久レースと4時間耐久レースに連続参戦します。同シリーズはフィリピン最難関とされる耐久レースシリーズであり、今年はエネルギー事情による形式変更により2時間・4時間の2レースとして開催されます。宮崎選手は4名構成チームの一員として、世界各国の強豪と対戦します。

### ■参戦の背景

宮崎選手は小学4年生からカートに取り組み、現在は山梨・静岡を拠点とするカートショップ兼ワークスチーム「RL Astech」に所属。着実に積み上げてきた実績と確かなドライビングテクニックが評価され、この度フィリピンのカーカルチャーを牽引するブランド「Karrera」および「Carbon Detailing Studio」の2社から声がかかり、スポンサーと参戦機会を得ることが決定。両社の支援により、フィリピンの伝統的な耐久レースへの参戦が実現しました。

参戦する「Makabayan Endurance Race Challenge Series」は、フィリピン最難関の耐久レースシリーズ。今年はエネルギー事情により例年と異なる形式での開催となり、宮崎選手は6月13日（土）の2時間耐久レースおよび翌14日（日）の4時間耐久の2レースに連続出場します。

直近の6月7日に開催された国内大会「2026 ROTAX MAX Challenge APG SERIES Round4」では、雨天・16台エントリーの激戦を制して優勝。最高の状態でフィリピン遠征に臨みます。



6月7日のレースで優勝した宮崎選手

### ■出場大会概要

大会名：Makabayan Endurance Race Challenge Series

開催日：2026年6月13日（土）・14日（日）

開催地：フィリピン・クラーク国際スピードウェイ（パンパンガ州）

大会特色：フィリピンの独立記念日（Kalayaan）を祝して開催される、現地でも非常に熱量の高い伝統的な耐久レースシリーズ。

出場体制：4名のドライバーで構成されるチームの一員として、2時間・4時間の耐久レースに出場。

チーム名：HG motorsports



### ■宮崎選手コメント



初めての車、初めてのコース、初めての耐久レースと全てにおいてアウェーなレースになりますが、これまで培ってきた経験を発揮し優勝を目指して戦ってきます。

過去に全日本選手権を含め様々なレースで優勝した実績はあるものの中々チャンスを掴めずにはいましたが、今年からようやく歯車が回り出した感覚でいます。今回のレースに出場するチャンスを頂いた方々含め応援して頂いている皆様の期待に応え、胸を張って報告できる結果を勝ち取ってきます！



文京学院大学

### 【取材などお問い合わせ先】

文京学院大学(学校法人文京学院 法人事務局総合企画室)

担当：島田、三橋 TEL:03-5684-4713